

「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第22回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2016年3月27日(日)に、埼玉大学において、日本磁気学会第22回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を日立金属(株)および(株)高純度化学研究所のご後援、ご協力を頂き開催しました。今回は大学周辺にお住いの小学生向けに参加者を募集し、小学生40名とその父兄を合わせて約70名の方にご参加いただきました。

講演会当日は高野総務理事の開会の挨拶にはじまり、講師としてお招きした藤枝俊先生(東北大学)により「ふしぎ、おどろき、磁石の力」というタイトルで、磁石の基本的な性質と身近にある磁石について、丁寧な説明、クイズ、実験等を交えて、磁石の面白さ、不思議さについて約40分の講演をしていただきました。最後まで熱心に聴いていただけたようです。特に、磁気浮遊コマ(商品名:レビトロン)のデモンストレーションに成功した時には歓声と拍手が起きました。総務委員一同もその難しさは良く承知していますので、思わず子供たちと一緒に感嘆の声を上げてしまいました。おそらく、藤枝先生は事前に相当の練習を積まれたことと推察いたします。講演後の質問コーナーでは「なぜ、磁石はN極とS極の二つでできているのですか?」という、講師・総務委員共々も思わずたじろぐ厳しい質問も飛び出しました。このような子供達の素朴でかつ根源的な質問に対してどのように回答するか、いつものことですが本当に頭を悩ませます。

講演終了後に、子供達に数班に分かれてもらい、「動く液体?磁気スライムを作ろう!」、「磁石の不思議な模様とは・・・」、「ハードディスクを分解しちゃった!」、「すごい磁石の大集合!」、「磁石で音を鳴らしてみよう!」、「不思議体験、マグネットパワー!」の計6コーナーを体験してもらいました。会場いっぱい子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐるっていたことや、積極的にコーナーの先生方に質問をする姿が大変印象的でした。今回から新たに導入したリニア中央新幹線の模型も大人気でした。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気づき磁石に詳しくなったということで、宮本総務理事より「じしゃく博士」認定証を一人ずつ子供たちに贈呈しました。最後に宮本理事からの閉会の挨拶を以って講演会の終了となりました。

今回参加いただいた児童と父兄の方々にアンケートを記入していただいた結果、これまで以上に好評だったようです。特に、藤枝先生の講演に対して、「非常に工夫されており大変分かり易い」「子供の時にこのような講演を聴きたかった」「最初はいいやや来たけれど、とっても面白かった。来て良かった」等の声が多く寄せられ大評判でした。体験コーナーでは、例年通りスライム作りが一番人気だったようですが、今年はそれに加えて磁気光学効果によるガーネットの磁壁移動観察の評判が良かったようです。

担当者(齋藤)としてはうれしい限りです。また、今後もこのような講演会に参加したいと答えた児童および父兄も多く、講演を開催したスタッフにとって大変嬉しい結果となりました。毎回のことですが、公開講演会での子供達の様子を見ると非常に元気づけられる思いがいたします。将来、参加いただいた子供達の中から研究者が生まれることを切に願うところです。

今回の公開講演会開催のホスト役として御尽力いただきました、埼玉大学神島先生(総務委員)、神島研のアルバイトの学生さんおよび学会事務局スタッフに心より感謝いたします。紙面を借りて改めてお礼申し上げます。次回は、2016年9月4日に金沢大学サテライトプラザでの開催を予定しています。開催2か月前頃に学会ホームページに開催案内を掲載しますので、周囲にお声掛け頂き、ぜひ積極的なご参加をお願いします。

(総務幹事:齋藤秀和)